

# 68

# NAGAI LEBEN

## 第68期報告書

平成28年9月1日から平成29年8月31日まで

いのちの力になりたい。

 ナガイレーベン株式会社



## ごあいさつ

未来の種を育む。



代表取締役社長  
澤登 一郎

創業 100 周年から 2 年目となる今年、皆様のおかげをもちまして、ナガイレーベンは過去最高の売上高を達成いたしました。これは業界を先駆ける積極的な商品開発による成果であり、根底には声なき声に耳を傾けてきた企業姿勢があると自負しております。

私たちは、財務数値に現れない企業価値を資産と考えます。日本及びアジアにおける女性の雇用創出、将来の医療を担う子どもたちの夢を育む「メディカルキッズプロジェクト」、医療従事者への心からの感謝と敬意を込めて開設した「いとなギャラリー」など、CSR / ESG に積極的に取り組み、医療環境、社会環境の向上のために、積極的な利益の社会還元を行っています。

これからも、「人の和」を社是、「いのちの力になりたい」を経営理念として、「ナガイズム」である、人と企業利益と社会貢献のバランスのとれた活動を推進してまいります。また、引き続き時代を牽引する志で業務に邁進いたします。どうぞ一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

伝統と、いま。融合から未来へ。

時代とともに、社会が看護の仕事に求めるものが広がりつつあります。医療従事者の趣向も多様化する中で、白衣は今後どこに向かうのか。ナガイレーベン<sup>®</sup>は普遍的な看護の志に軸足を置きながら、常に時代の問いに向き合い、進化した商品をお届けします。

ハイエンド商品のドクターウェアの4D+<sup>®</sup>ブランド、新たなカラーテイストを融合させた画期的なブランド、ビタミンシリーズ、伝統とタイムリーな個性を融合したビーズベリー<sup>®</sup>など多彩な商品を次々と先駆け、市場を牽引しております。さらにナガイレーベンは、異業種と共同でナースの日常をより美しく心地よくサポートをする新しい試みも進めています。新境地を開きながら、周辺商品の機能も向上させ、入院患者ウェアは2期連続前年度比2桁増の収益を上げました。成長の原動力は人と人をつなぐ思い。誠実な絆づくりが、商品すべてに血液として流れる、ナガイレーベンの普遍的な企業力であると確信しております。



ブライトデイズ 資生堂 ビューティークリエーションセンター 監修

.....  
.....  
Bright Days  
.....  
.....

Bright Days



ブライツデイズ

# *Beads Berry*®



さらに進化するホスピタリティーウェア、ビーズベリー。



# B 連結業績ハイライト Business Highlight

## 第68期決算の概要

売上高	170億円	前年同期比 2.9%増
売上総利益率	47.5%	前年同期比 0.8ポイント増
営業利益	52億円	前年同期比 5.9%増
当期純利益	36億円	前年同期比 12.6%増
総資産	409億円	前年同期比 20億円増
自己資本比率	89.2%	

## 過去最高の売上高・営業利益を達成

医療・介護業界におきましては、医療費増加抑制のための一部大型商品の薬価基準見直しが実施されましたが、診療報酬及び介護報酬の改定の年度ではなかったため、その影響は限定的であり、市場は概ね安定的に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、主力のヘルスケアウェアの順調な増収に加え、患者ウェアが引き続き好調に推移し、高感性・高機能の高付加価値新商品群が全体を牽引したことにより、当初計画を達成し、過去最高の売上高となる170億17百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

生産に関しましては、国内の人手不足により加工賃の上昇が続き、円安傾向が進み海外での仕入原価が上昇したものの、海外生産シフト効果や価格改定の浸透、並びに新商品群の販売も好調に推移した結果、売上総利益率は47.5%(前年同期比0.8ポイント増)となりました。

## 来期の業績見通し

売上高	175億円	前年同期比 2.8%増
営業利益	53億円	前年同期比 2.5%増
当期純利益	37億円	前年同期比 1.8%増

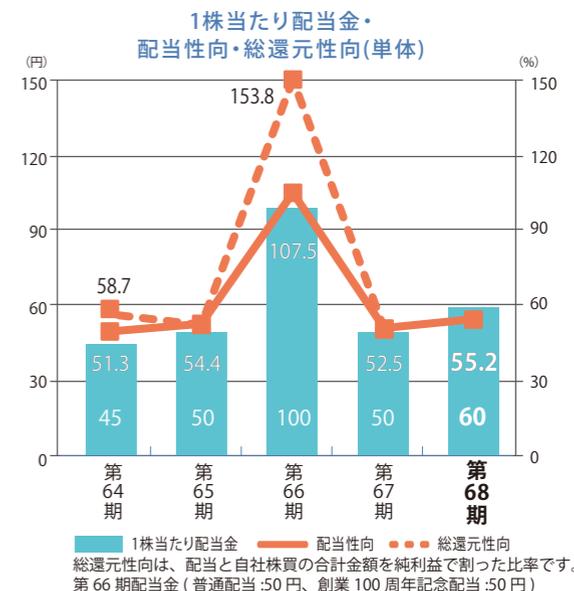
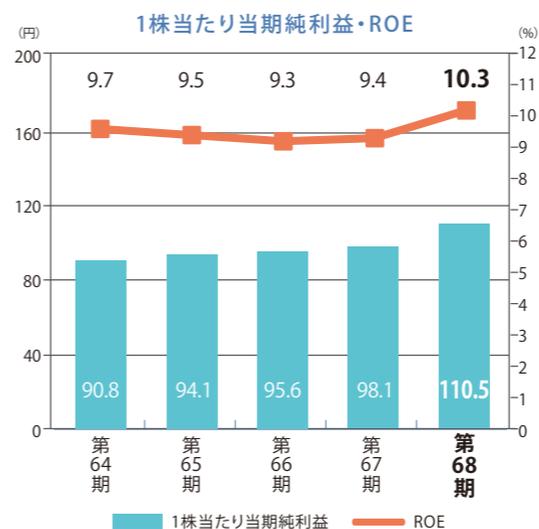
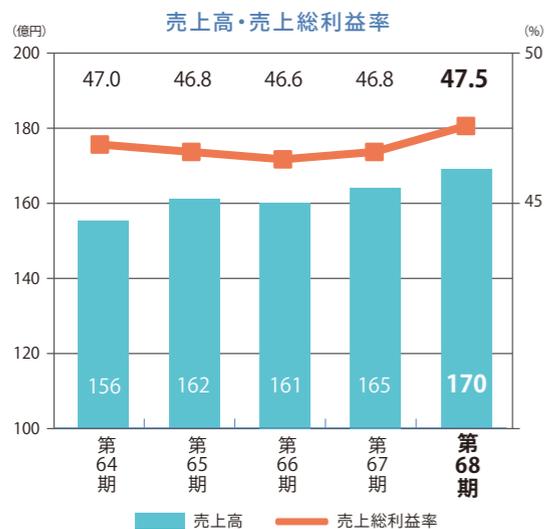
医療・介護業界におきましては、6年に一度の診療報酬、介護報酬のダブル改定の年にあたり、機能分化と連携の観点から大幅な制度変更も検討されており、市場は不透明感が強まるものと推測されます。

当社グループといたしましては、このような状況下ではあるものの、メディカルウェアは報酬制度の直接的な影響下ではないため、顧客ニーズに適合したここ数年の付加価値戦略の強化を継続推進し、連続して過去最高の売上達成を目指してまいります。

## 経営課題と取り組み状況

売上拡大に向けた営業戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 看護・介護等コア市場の深耕</li> <li>● 患者・手術等周辺市場の拡大</li> <li>● 海外市場の開拓</li> </ul>
安定供給に向けた生産戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内生産体制の強化(賃上げ対応)</li> <li>● 素材メーカー・商社との取り組み強化</li> <li>● QR・小ロット多品種生産への対応力強化</li> </ul>
収益力安定に向けた戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内生産から海外生産へのシフト</li> <li>● EPA・FTAの優遇税制を活用した海外素材開発</li> <li>● 高付加価値戦略による事業収益性の確保</li> </ul>

## 主な経営指標



# F 連結財務諸表の概要 Financial Statement

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 平成28年8月31日	当期末 平成29年8月31日
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	29,083	32,325
固定資産	9,774	8,626
資産合計	38,857	40,951
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,371	3,426
固定負債	983	979
負債合計	4,355	4,405
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	34,359	36,370
その他の包括利益累計額	142	175
純資産合計	34,501	36,545
負債純資産合計	38,857	40,951
1株当たり純資産	1,037円76銭	1,099円23銭

## 株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 平成28年8月31日	当期末 平成29年8月31日
株主資本合計(期首残高)	34,422	34,359
当期変動額	△62	2,011
株主資本合計(期末残高)	34,359	36,370

(平成29年8月31日現在)  
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。  
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

**Point**  
流動資産は、現金及び預金32億57百万円の増加、電子記録債権10億32百万円の増加、受取手形及び売掛金9億22百万円の減少により、前期比32億42百万円の増加となりました。

**Point**  
固定資産は、長期預金の減少などで、前期比11億48百万円の減少となりました。

**Point**  
資産合計は前期比20億93百万円の増加となりました。

**Point**  
株主資本は前期比20億11百万円増加いたしました。株主還元として、16億62百万円の配当金の支払を実施いたしました。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 平成28年8月31日	当期末 平成29年8月31日
売上高	16,537	17,017
売上原価	8,802	8,931
売上総利益	7,735	8,086
販売費及び一般管理費	2,784	2,843
営業利益	4,950	5,242
営業外収益	94	144
営業外費用	108	46
経常利益	4,937	5,340
特別利益	1	4
特別損失	3	3
税金等調整前当期純利益	4,934	5,341
法人税等	1,672	1,667
当期純利益	3,262	3,673
1株当たり当期純利益	98円12銭	110円49銭

**Point**  
過去最高の売上高を達成しました。売上総利益率は、47.5%となり、前期より0.8ポイント向上しました。

**Point**  
前期は、外貨預金の為替差損70百万円がありました。当期は44百万円の為替差益を計上しました。

**Point**  
営業活動によるキャッシュ・フローは39億79百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻に対する預入の超過支出(44億円)などがありました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払(16億62百万円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は46億62百万円となりました。

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期末 平成28年8月31日	当期末 平成29年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,565	3,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△4,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,324	△1,662
現金及び現金同等物の増減額	△1,787	△2,042
現金及び現金同等物の期首残高	8,491	6,704
現金及び現金同等物の期末残高	6,704	4,662

# 社会的責任 Social Responsibility

## 女性活躍



**女性主役産業をサポート**  
当社の商品の多くは病院・介護の現場で働く女性向けであり、また当社の生産現場では多くの女性スタッフが縫製作業に関わっています。当社の事業活動が、多様なライフイベントをもつ女性が活躍できる場を創出し、働く女性への支援につながっています。

## 地域貢献



**メディカルキッズプロジェクト  
ミッフィー病院訪問**  
病院と地域社会との交流を深め、子どもたちが安心して通院・入院できるようにとの思いから始めたもので、ドクターやナースに模した、子ども用白衣の病院貸出しや、ミッフィー着ぐるみの病院訪問を実施しています。

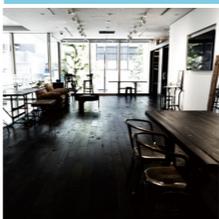
- ・災害支援:SARSやインドネシアの大地震、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの災害発生時に、看護協会や赤十字を通じた寄付や白衣の提供、車椅子の寄贈などを実施しています。
- ・飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関「国連 WFP」を支援しています。
- ・障害者雇用支援:障害者の積極的な雇用・促進に貢献した優良事業所として子会社ナガイ白衣工業が選ばれ、厚生労働大臣から表彰されました。

## 地域貢献



**生産拠点を通じた地域貢献**  
1969年に秋田県に製造工場を設立し、1989年には海外生産を開始し、中国、インドネシア、ベトナムに生産拠点を持っています。現地雇用の創出活動、能力開発など、国内外の地域社会の発展に貢献しています。

## お客様



**ナースのための憩いの場  
「ITONA」ギャラリーの開設**  
2015年の創業100周年を記念し、ナースへの「ありがとう」の気持ちを形にするため、日本で初めてのナースのための心のコミュニケーションスペース「ITONA いとな」ギャラリーを開設しました。

- ・2005年に「ISO14001の認証」を取得しています。原材料の裁断クズを再利用したルーフ材加工などの取り組みを実施しています。
- ・病院の手術現場向けにリユース商品「コンペルパック」を開発し、販売しています。従来のディスプレイからリユースに転換でき、病院内での医療廃棄物削減を可能にしました。

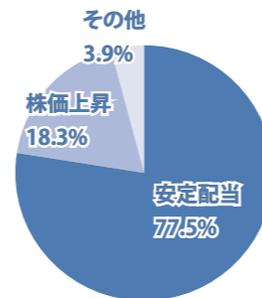
# 株主さまアンケート Survey Results

## 株主さまアンケート結果(前回実施)のご紹介

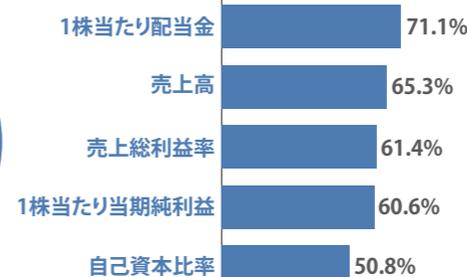
毎回、本誌と一緒に送らせておりますアンケートはがきに、多くの株主の皆さまよりご回答をいただいております。当社は株主の皆さまからご満足いただけるよう、アンケートを通じて集まりましたご要望等は、できることから対応をさせていただきます。

### 集計結果

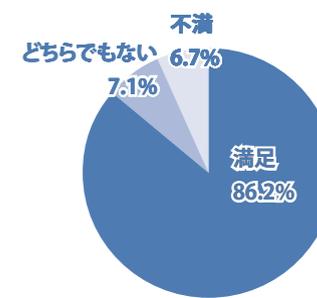
当社株式の保有目的は何ですか？



当社の業績数値の中で、注目しているものは何ですか？



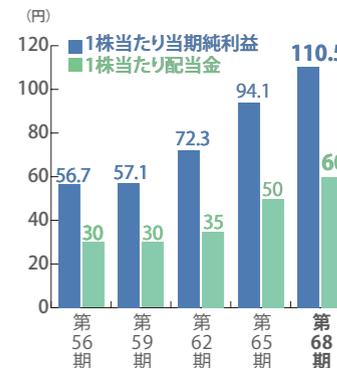
当社への評価を教えてください。



### 当社に対するご要望等

配当性向の高さに魅力を感じていますが、業績が伸びている分、配当金の増額を希望します。

今回の配当金は1株あたり60円(前期比10円増)といたしました。今後も継続的な利益の成長を目指しつつ、当社単体の純利益5割という配当性向の方針を維持し、安定配当での還元を目指してまいります。



# 会社概要 Corporate Outline

商号 ナガイレーベン株式会社 (平成29年11月22日現在)

本社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号

設立 昭和25年7月20日

資本金 1,925,273,475円

社員数 113人(グループ従業員数498人) (平成29年8月31日現在)

役員

代表取締役社長	澤登 一郎
常務取締役 経営企画本部長	斉藤 信彦
取締役 業務本部長	朝井 克司
取締役 企画本部長	山本 康義
取締役 営業本部長	新谷 欣哉
取締役 管理本部長	徳江 健
取締役 常勤監査等委員	荻野 和孝
社外取締役 監査等委員	城見 浩一
社外取締役 監査等委員	三嶋 浩太

## 主な事業所

本社  
 ナガイレーベン物流センター  
 ナガイレーベン第2物流センター  
 ナガイレーベン西日本物流センター  
 北海道支店 東北支店 名古屋支店  
 大阪支店 広島支店 福岡支店  
 高松営業所  
 台北支店  
 関係会社 ナガイ白衣工業株式会社



# 株式情報 Stock Information

発行可能株式総数 100,000,000株

発行済株式総数 33,246,449株  
(自己株式4,989,551株を除く)

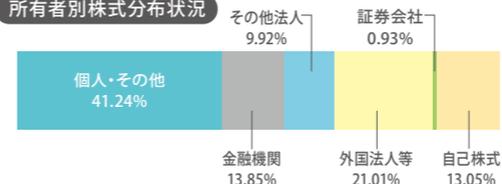
株主数 3,013名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,770,000	17.4
JP MORGAN CHASE BANK 380072	1,734,534	5.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,656,275	5.0
有限会社登龍	1,350,300	4.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,141,200	3.4
澤登 辰郎	1,055,200	3.2
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	959,200	2.9
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	890,500	2.7
露口 誠	800,000	2.4
澤登 春江	623,600	1.9

注1. 当社は、自己株式を4,989,551株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価の推移



## 株主メモ

決算期 毎年8月31日  
 定時株主総会 毎事業年度末の翌日から3か月以内  
 基準日 毎年8月31日  
 公告掲載方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。  
 公告掲載URL <http://www.nagaileben.co.jp/>

単元株式数 100株  
 銘柄コード 7447  
 上場証券取引所 東京証券取引所  
 株主名簿管理人 日本証券代行株式会社  
 〒103-8202  
 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号  
 同事務取扱所 日本証券代行株式会社 本店  
 〒103-8202  
 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号  
 郵便物送付先・お問合せ先 日本証券代行株式会社 代理人部  
 〒168-8620  
 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
 電話0120-707-843 (フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等  
 証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。  
 証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

いのちの力になりたい。

## ナガイレーベン株式会社

本 社 〒101-0044 東京都千代田区鏡冶町2-1-10 Tel.03-5289-8200 (代) Fax.03-5289-7935

営業本部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301

大阪支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広島支店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

福岡支店 〒810-0011 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

高松営業所 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

台北支店 台北市中山区復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <http://www.nagaileben.co.jp>

いとなギャラリーホームページ <http://www.itona.jp>



JQA-QMA11091  
本社・国内営業所  
JQA-EM4600  
本社

※メディカル及びヘルスケア関連アパレル製品